

# 富山県 山のグレーディング

数字が大きくなるほど体力が必要 体力度

	A	B	C	D	E
10		7 周 雲ノ平→三保連華岳(折立) 30 雷倉岳→朝日岳→ 31 稻海新道(樹木自然園・親不知海岸)※3	36 北ノ保岳(上ノ岳)→ 水島岳(折立・黒部湖駅)＜眺光新道＞ 37 稻海新道→朝日岳 38 親不知海岸・北又小屋＜上り＞※3	14 池ノ平山(樺平駅・室堂ヶヶヶヶ)＜ 親不知湖＞ 15 池ノ平山(室堂ヶヶヶヶ・樺平駅) 16 親不知湖	39 縦 後立山縦走(水島小屋・白馬山荘)★
9			34 朝日岳→稲海新道 (北又小屋・親不知海岸)＜下り＞※3 35 周 雲ノ平→高天原温泉(折立) 32 縦 美師岳→龍王岳(折立・室堂ヶヶヶヶ)		
8		45 周 白馬岳→朝日岳(蓮華温泉)	33 縦 白馬岳→朝日岳(蓮華温泉) 34 縦 龍王岳→美師岳(室堂ヶヶヶヶ・折立)		
7		7 周 朝日岳→雪倉岳(蓮華温泉)＜飯山道＞ 35 北ノ保岳(上ノ岳)・黒部五郎岳(折立) 46 朝日岳(蓮華温泉)＜朝日小屋＞	40 縦 針ノ木岳(黒部湖駅・雨沢駅)＜針ノ木谷＞		16 縦 下ノ廊下(樺平駅・黒部湖駅) 17 縦 親岳→前嶺(馬場島・室堂ヶヶヶヶ)
6			44 縦 白馬岳(祖母谷温泉・猿倉) 47 縦 大門山→大笠山(フナオ峠・桂湖駐車場)※2 48 縦 大日岳→奥大日岳 (称名駐車場・室堂ヶヶヶヶ)	11 縦 船窪岳(黒部湖駅・七倉山荘)＜針ノ木谷＞ 12 縦 内蔵助平(黒部湖駅・室堂ヶヶヶヶ) 13 ハシゴ谷乗越	18 縦 下ノ廊下(黒部湖駅・樺平駅) 19 縦 親岳(馬場島)＜早見展望＞
5		30 美師岳(折立) 31 大日岳(称名駐車場)	6 歩くアルペンルート (立山駅・室堂ヶヶヶヶ)＜上り＞ 49 朝日岳(北又小屋) 20 内蔵助平(黒部湖駅・室堂ヶヶヶヶ) ＜内蔵助水河＞ 21 毛勝山(阿部木谷出合)＜西北尾根＞※1 22 猫又山(馬場島)＜フナクラ谷＞※1 23 縦 五色ヶヶヶヶ(室堂ヶヶヶヶ・黒部湖駅) 24 赤谷山(馬場島)＜フナクラ谷＞※1 25 周 瀬戸蔵山→飯崎山(兼乗野スキー場)※1	17 縦 内蔵助平(室堂ヶヶヶヶ・黒部湖駅) ＜ハシゴ谷乗越＞	9 縦 親岳(室堂ヶヶヶヶ)＜別山尾根＞ 11 縦 前嶺→親岳(室堂ヶヶヶヶ・馬場島)
4		50 大門山・奈良岳(フナオ峠)※1 51 駒ヶヶヶヶ(烏帽子尾根登山口)	26 大笠山(桂湖駐車場)※2 27 大猫山(馬場島)※1 15 内蔵助平(室堂ヶヶヶヶ・黒部湖駅) ＜内蔵助水河＞ 28 奥大日岳→大日岳 (室堂ヶヶヶヶ・称名駐車場) 29 縦 針ノ木岳(黒部湖駅・雨沢駅) 30 クスバ山(馬場島) 7 歩くアルペンルート (室堂ヶヶヶヶ・立山駅)＜下り＞ 21 鉢伏山(フナクラ谷登山口)		
3	65 医王山(稻谷口)	50 僧ヶヶヶ(宇奈月尾根登山口) 5 縦 黒部ダム→室堂 (黒部湖駅・室堂ヶヶヶヶ)＜ノ越＞ 2 周 雄山→別山(室堂ヶヶヶヶ) 38 人形山(中根平) 23 大熊山(小又川出合) 80 金剛堂山(新谷登山口) 55 黒雲山(上管川橋) 54 大地山(夢割峠) 3 周 雄山→真砂岳(室堂ヶヶヶヶ)＜大走り下山＞ 72 高須山(発電所) 52 大貫山(坂橋) 33 大倉山(桑谷谷登山口) 75 鹿嶋山(飛越橋) 76 白木峰・小白木峰(軽車庫) 59 飯ヶヶヶ(烏帽子山(嘉沢沢))	31 僧ヶヶヶ(阿部木谷出合(東又)) 32 クスバ山(馬場島) 7 歩くアルペンルート (室堂ヶヶヶヶ・立山駅)＜下り＞ 21 鉢伏山(フナクラ谷登山口)		
2	76 小佐渡得前山(風の城) 85 高坪山(宮谷尾根登山口) 参考 高尾山(美歩道) 41 八乙女山(閑楽寺公園) 75 六谷山(炭住峠) 65 周 城ヶヶヶ平山(大岩)	74 キラズ山(作業道入口) 51 白鳥山(坂田峠) 37 赤根尖山(丸山展望台入口) 37 猿ヶヶヶ(フナオ峠) 4 縦 高倉→黒部ダム (室堂ヶヶヶヶ・黒部湖駅)＜ノ越＞ 79 周 牛岳(小牧倉登山口) 1 雄山(室堂ヶヶヶヶ) 7 大笠山(長尾橋) 34 高落橋山(若杉集落跡) 6 周 浄土山→龍王岳(室堂ヶヶヶヶ) 25 周 中山(馬場島橋) 83 高清水山(網ヶヶヶ駐車場) 84 湧谷山(杉林伏採道場) 53 負釣山(オコ谷峠)	31 僧ヶヶヶ(阿部木谷出合(東又)) 32 クスバ山(馬場島) 7 歩くアルペンルート (室堂ヶヶヶヶ・立山駅)＜下り＞ 21 鉢伏山(フナクラ谷登山口)		
1	77 夫婦山(小井渡) 参考 高尾山(琵琶滝) 82 尖山(横江駅) 78 袴腰山(峰越登山口) 57 南保富士(三峯) 66 高峰山(西穂)	74 キラズ山(作業道入口) 51 白鳥山(坂田峠) 37 赤根尖山(丸山展望台入口) 37 猿ヶヶヶ(フナオ峠) 4 縦 高倉→黒部ダム (室堂ヶヶヶヶ・黒部湖駅)＜ノ越＞ 79 周 牛岳(小牧倉登山口) 1 雄山(室堂ヶヶヶヶ) 7 大笠山(長尾橋) 34 高落橋山(若杉集落跡) 6 周 浄土山→龍王岳(室堂ヶヶヶヶ) 25 周 中山(馬場島橋) 83 高清水山(網ヶヶヶ駐車場) 84 湧谷山(杉林伏採道場) 53 負釣山(オコ谷峠) 76 周 東坪山(東坪キャンプ場)			

**【凡例】**

- ①～⑩：立山連峰及び周辺山城
- ⑪～⑳：後立山連峰及び周辺山城
- ㉑～㉒：県東部～中央部
- ㉓～㉔：県西部

※数字は「富山県 山のグレーディング」の番号

- ( )：登山口
- <>：山名と登山口だけでは経路が特定できない場合の経路地等
- 縦：入山口と下山口が異なる縦走ルート
- 周：入山口と下山口が同じだが、途中の経路が異なる周回コース
- 一：縦走・周回の順

★39 後立山連峰縦走

	C	D	E
4		②烏帽子岳・船窪岳 (烏帽子小屋・船窪小屋)	⑦唐松岳・杓子岳 (唐松岳頂上山荘・白馬山荘)
3	③七倉岳・彌垂岳 (船窪小屋・針ノ木小屋) ④針ノ木岳・岩小屋沢岳 (針ノ木小屋・種池山荘)	⑤龍ヶヶヶ・鹿高橋ヶヶヶ (峰山山荘・針ノ木小屋) ⑥五竜岳 (針ノ木小屋・唐松岳頂上山荘)	
2	①野口五郎岳 (水島小屋・烏帽子小屋)		

③9 後立山連峰縦走は水島小屋から白馬山荘までの長大なルートであり、各山小屋を起点にして1～4日で行動できる区間(①～⑦)に細分してあります。また、経路上のルートであるため、登山口・下山口を設定していません。グレーディングが設定された周辺のルートと接続する等して、ご利用ください。

- ＜室堂から入山する場合の注意事項＞**
- 室堂は、交通機関で容易にアクセスできますが、標高2,450mの高山帯に位置します。
  - 充分な高度順化をしないまま登山を開始することは、高山病や脱水症などの原因となります。
  - 高山帯である室堂から出発する各登山ルートは、体力度の数値以上に、体に負担がかかります。
  - 少しでも体調不良を感じた場合は、速やかに引き返すなど、余裕を持った行動を心がけてください。

- ※1 このルートは体力度4以上(1泊以上が適当)だが、途中に宿泊施設・テント場がないので、**登山者によっては日没登山に下山で夜になる恐れ**があります。
- ※2 このルートは体力度4以上(1泊以上が適当)だが、途中に避難小屋しかないため、**雪泊の準備が必要**です。
- ※3 このルートは体力度9以上(2～3泊以上が適当)だが、稲海新道(朝日小屋から親不知海岸の間)には無人小屋がないので、**雪泊の準備が必要**です。

技術的難易度 右になるほど難易度が増す

登山道	技術	体力
<ul style="list-style-type: none"> <li>概ね整備済み</li> <li>転んに適合でも転落・滑落の可能性は低い</li> <li>道迷いの心配は少ない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>沢、崖、場所により雪深を通過</li> <li>急な下り階段がある</li> <li>道が分りにくいくところがある</li> <li>転んだ場合に、転落・滑落事故につながる場所がある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ハシゴ・鎖場、また、場所により雪深や陡歩箇所がある</li> <li>ミスをする転落・滑落などの事故になる場所がある</li> <li>案内標識が不十分箇所も含まれる</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>登山の装備が必要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>登山経験が必要</li> <li>地図読み能力があることが望ましい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地図読み能力、ハシゴ・鎖場などを通過できる身体能力が必要</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>【用語説明】</li> <li>○<b>地図読み能力</b> 「地図を見て自分の位置を知ることができ、目的地へのルートを選択できる能力」</li> <li>○<b>トポバグ</b> 「登山道についていないところ、また分かりづらいところを、一番安全に通過できるルートを識別すること」</li> <li>○<b>雪崩</b> 「雪や氷などが密着を手でかき分けなければならないこと」</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>厳しい岩壁や不安定なカシ根、ハシゴ・鎖場、転落や雪崩を要する箇所、場所により雪深や陡歩箇所がある</li> <li>手を使う急な急下りがある</li> <li>ハシゴ・鎖場や案内標識などの人工的な補助は限定的で、転落・滑落の危険箇所が多い</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>緊張を強いられる険しい岩壁の急下りが続き、転落・滑落の危険箇所が連続する</li> <li>深い雪崩を必要とする箇所が連続する箇所がある</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>地図読み能力、岩壁・雪深を安定して通過できるハフラス能力や技術が必要</li> <li>ルートファインディングの技術が必要</li> <li>登山者によっては、ロープを使わないと危険な箇所もある</li> </ul>

- ＜使用上の注意＞
- この表は、無雪期・天候良好という条件下での、ルート固有の地形的特徴について、体力度と技術的難易度を評価したものです。実際の登山では、体力度と技術的難易度以外に、悪天候・残雪・体調不良・準備不足、その他偶発的な要因による様々なリスクがあるので、それらに配慮した登山計画を立てることが必要です。
  - この表に記載した登山ルートは、富山県内(一部県外ルート含む)で比較的登山者が多いものから選定しました。国土地理院地図に未記載の登山道や公的な管理がされていない登山道を含んでおり、全ての登山ルートについて、通行や登山の安全を保障するものではありません。また、グレーディング対象ルートでの事故について、一切の責任は負いかねます。
  - コースタイムに休憩時間は含まれません。また、一般的な登山ルートにあたらぬ、特に条件の厳しい登山ルートは評価の対象外としました。【例】朝岳北方縦線、長次郎谷、平蔵谷
  - 登山道の状況は、年や季節によって大きく変化します。特に沢流をはじめとするシーズン後半まで残る大規模な雪渓は、表面の凍結やクレバス※、シュルンド※、スノーブリッジ崩落など、変化が激しく、致命的な事故となります。登山前に周辺の山小屋や警察などに、ルートの状況を確認してください。  
※クレバス：雪渓表面の割れ目。深さ数メートルに達することもある シュルンド：雪渓と側壁の間にできる隙間
  - 日ごろから体力・登山技術のトレーニングを行い、登山に際しては、事前に登りたい山の下調べ、登山計画立案、登山届提出等の準備をしっかりと行った上で、安全を最優先し、状況に応じて登山の中止や引き返すことを念頭に置いて行動してください。
  - 民有地での無許可駐車や路上駐車を、絶対にしないでください。